

進撃の浦山ダム ～第十壱章～ 開催

今年も、痛車・コスプレイベント「進撃の浦山ダム～第十壱章～」(秩父商業青年経営者研究会・秩父サブカルチャー実行委員会 主催)が令和7年5月11日(日)浦山ダムで開催されました。当日は4輪車と2輪車合計40台の痛車と約30名のコスプレイヤー、約20名のカメラマンが参加し、浦山ダムの天端を埋めました。

当日は、早朝から会場の設営や出展車両の搬入が行われ、予定どおり10時に開会となりました。浦山ダム天端のあちこちで、レイヤーさんや痛車の撮影会などが夕方まで行われました。主催者発表では、約500人の来訪者があったとのこと。初めて浦山ダムに来訪された方からは「痛車やダムの内部など普段見られないものを見せていただけて良かった。」という話も聞かれました。

荒川ダム総合管理所では痛車・コスプレイベントにおいて、職員による事業説明も含めた浦山ダム堤体内の見学会を行っており、普段は入ることができないところに入れることから、大変好評でした。

このイベントは、コロナ禍で5年間開催できなかった期間を経て昨年“復活”開催され今回で11回目となり、今後も浦山ダムを有効活用した地域イベントとして、秩父地域の活性化に寄与するとともに、より多くの方々にダムの魅力や重要性をアピールしていきたいと考えています。



天端に痛車勢揃い



痛車・コスプレの撮影



四輪部門で表彰された痛車



浦山ダム見学会も同時に開催



最後に全員で集合写真「進撃の浦山ダム～第十壱章～ 無事に終了！」また来年！